

# 保証とアフターサービス

## 1 この製品には保証書がついています。

保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。

## 2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

## 3 保証期間後の修理は・・・

販売店または当社サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

この製品についてのご質問は

株式会社 シー・シー・ピー サービスセンター

TEL.03-3527-8899 FAX.03-3527-8956

営業日：月曜～金曜（但し、祝日は除きます）お電話受付時間 9：30～17：00

〒135-0064 東京都江東区青海3丁目2番17号  
ワールド流通センターA棟 ユニエックス倉庫内

### 愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！



このような症状はありませんか？

- 電源を入れても、ときどき運転しないことがある。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、ただちに使用を止めていただき、必ず販売店または当社サービスセンターに点検をご相談ください。



株式会社 シー・シー・ピー

本社：〒111-0043 東京都台東区駒形2-5-4

OMO

キリトリ線

## スチーム式タンブラー加湿器 保証書

持込修理

品番	KJ-H14		
お客様名	様		
ご住所	〒		
	電話番号 ( ) -		
お買い上げ日	年 月 日	取扱販売店	住所・電話番号
保証期間	お買い上げ日より	対象部分	株式会社 シー・シー・ピー 〒111-0043 東京都台東区駒形2-5-4
	1年	本体 消耗部品は除く	

本書はお買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

CCP'S

# 取扱説明書

保証書付

## スチーム式タンブラー加湿器

品番 KJ-H14

このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

**本製品はアロマ水、アロマオイルなどはご使用になれません。ご使用になりますと故障の原因になります。**



### もくじ

安全上のご注意	2
ご使用にあたってのお願い	4
各部のなまえ	6
使いかた	7
お手入れと保管	11
修理サービスを依頼される前に	14
消耗・交換部品	15
仕様	15
保証とアフターサービス	巻末

### 家庭用

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源、電圧が異なりますので使用できません。This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.

# 安全上のご注意

—必ず守ってください—

ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みください。

◎ここに示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ず守ってください。

誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を表わす図記号です。

 <b>警告</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表わしています。
 <b>注意</b>	「傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容」を表わしています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない「禁止」の内容を表わしています。	 必ず実行していただく「強制」の内容を表わしています。
--	--

## 警告

 **禁止**  
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない  
また、重いものを載せたり、挟みこんだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

 **分解禁止**  
改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない  
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。

 **プラグを抜く**  
お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜く  
感電やけがの原因になります。

 **プラグを抜く**  
異常時（こげくさいなど）は、運転を停止して差し込みプラグをコンセントから抜く  
異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。

 **使用禁止**  
お手入れの際、塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使用しない  
洗浄剤が残り、有毒ガスが発生する原因になります。

 **使用禁止**  
幼児の手の届く範囲で使用しない  
感電ややけど、けがの原因になります。

# 消耗・交換部品

消耗・交換部品を依頼される場合は「保証とアフターサービス」をご覧ください。（⇒巻末参照）

<b>本体上ぶた</b>  EX-3210-CO (カフェオレ) EX-3210-BB (ビターブラウン)	<b>水タンク</b>  EX-3059-00	<b>お手入れブラシ</b>  EX-0433-00	<b>クリーニングフィルター</b>  EX-3093-00
---	--	---	---

## 仕様

品番	KJ-H14	質量	460g
電源	AC100V 50-60Hz	電源コード長さ	約1.8m
加湿量	約70ml/h*	付属品	お手入れブラシ クリーニングフィルター
水タンク容量	200ml	外形寸法	幅95×奥行95×高さ150mm
連続加湿時間	約3時間		
消費電力	70W		

\*加湿量は、室温や湿度環境、壁、床の材質、部屋の構造、使用している暖房機などの環境条件によって大幅に左右されますので目安としてください。

### キリトリ線

#### 〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
  - 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご提示ご持参いただきお申しつけください。
  - お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、当社サービスセンターにご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げ販売店または当社サービスセンターにご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、当社サービスセンターにご連絡ください。
- 保証期間内で次の場合には原則として有料とさせていただきます。
  - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
  - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
  - 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
  - 一般家庭用以外（例えば、業務用としての使用）に使用された場合の故障及び損傷

- 本書のご提示がない場合
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

#### 修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。  
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。  
※This warranty is valid only for Japan.

# 修理サービスを依頼される前に

安全上のご注意



## 警告

修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

火災、感電、けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご相談ください。(⇒巻末参照)

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

こんなときは	お調べいただくこと	処置のしかた
・電源が入らない (スチームが出ない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・差し込みプラグがコンセントに差し込まれていますか？</li> <li>・運転ランプは点灯していますか？</li> <li>・電源を「入」にした直後ではありませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しく接続してください。 <b>8p参照</b></li> <li>・電源タッチセンサーに触れなおしてください。 <b>8p参照</b></li> <li>・スチームが出るまでに3~10分かかります。 <b>8p参照</b></li> </ul>
・本体が熱い	・内部で水を沸騰させているためです。	・故障ではありません。
・水が漏れる ・水があふれる	・水タンクキャップがしっかりと閉じていますか？	・水タンクのキャップをしっかり締め付けてください。 <b>7p参照</b>
・ポコポコと音がする	・内部で水を沸騰させている音です。	・故障ではありません。

修理サービスを依頼される場合は「保証とアフターサービス」をご覧ください。(⇒巻末参照)



## 警告



**ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししない**  
感電の原因になります。



**電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない**  
ショート・感電・発火の原因になります。



**水につけたり水をかけたりしない**  
ショート・感電・火災の原因になります。



**アロマ水など、水道水以外の水を使用しない**  
沸騰により異常な泡が上ぶたよりあふれ出してやけどや故障の原因になります。



**上ぶたをはずしたまま運転しない**  
水が飛び散り机や床をぬらしたり、やけどの原因になります。



## 注意



**使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く**  
けがや故障の原因になります。



**不安定な場所に置かない**  
お湯がこぼれて机や床をぬらしたり、やけど、故障の原因になります。



**使用中は本体を持ち運ばない**  
お湯がこぼれて机や床をぬらしたり、やけど、故障の原因になります。



**水はご使用のつど新しい水道水に入れ替える**  
水槽部に残っている水も、ご使用のつど捨ててください。水漏れや故障の原因になります。



**使用中に本体を傾けない**  
お湯がこぼれて机や床をぬらしたり、やけど、故障の原因になります。



**差し込みプラグをコンセントから抜くときは、コードを持たずに、必ずプラグを持って抜く**  
感電やショートして発火することがあります。



**本体に電源コードを巻きつけたまま運転しない**  
倒れてお湯がこぼれて机や床をぬらしたり、やけど、故障の原因になります。



**電源コンセントや差し込みプラグの点検をおこなう**  
コンセントにほこりがたまっていると湿気が加わることで電流が流れ、火災の原因になることがあります。コンセントの周りにほこりをためないよう、ときどき掃除をしてください。



**使用中や使用直後はお手入れをしない**  
やけどやけがの原因になります。

## お願い 正しく、安全に使いましょう！

この製品は内部でお湯を沸騰させて加湿する「スチーム式加湿器」です。安全性を考慮した設計を行なっておりますが、誤った使いかたをしますと、内部のお湯や高温になっている部分でやけどをしたり、周辺の家財をぬらすおそれがあります。運転中はなるべく本体に触らないでください。取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。特に、お子様や高齢の方のいらっしゃるご家庭では十分に注意してください。

## 故障などを防ぐために、必ずお守りください

### 吹出口をふさがない

カーテンやタオルなどで吹出口をふさぐと故障の原因になります。



### 上ぶたや水タンクをはずして使用したり、他の用途には使用しない

床や机をぬらしたり、やけどや故障などの原因になります。



### スチームに顔や手を近づけない・口から吸い込まない

やけどの原因になります。



### 凍結に注意する

凍結のおそれがあるときは水タンクや本体の水を捨ててください。凍結すると故障の原因になります。



### 水の入った水タンクを本体にセットしたあとは、本体を移動させたり持ち運んだりしない

やけどや、水がこぼれて周囲をぬらしたり、機器の中に水が入って故障の原因になります。

### 加湿しすぎない

加湿しすぎると周囲をぬらしたり、故障の原因になります。

### 本体内部のお手入れをこまめにおこなう

お手入れをしないで使い続けると、水あかやごみなどで汚れ、性能が低下したりカビなどの繁殖や悪臭発生の原因になります。

### 転倒に注意

本体が倒れると、お湯がこぼれて机や床をぬらしたり変色させたり、やけどや故障の原因になります。

## クエン酸洗浄

水槽・加熱槽の水あかが落ちにくい場合はクエン酸洗浄してください。

- ①約50mlのぬるま湯（30～40℃）に小さじ約半分のパット洗浄用クエン酸（市販）を入れ、よく混ぜながら溶かします。
- ②クエン酸を溶かしたぬるま湯を本体の加熱槽にゆっくりと注いで、そのまま2～3時間放置します。
- ③放置後、やわらかくなった水あかを布などで取り除きます。
- ④洗浄が終わったら、排水方向から排水します。このとき本体加熱槽内の水を完全に排水するため、本体をさかさまにして軽く振って内部の水を切ってください。
- ⑤内部に付着したクエン酸を洗い流すため、約100mlの水道水を本体の加熱槽にゆっくりと注いで排水します。（クエン酸を完全に洗い流すために、2～3回繰り返してください）

## ⚠ 注意

### 本体に直接クエン酸を入れない

強力な洗浄成分で加熱槽の表面を傷める原因になります。クエン酸は必ず別の容器でよく溶かしてから使用してください。

### シンナー、アルコール、ベンジン、ミガキ粉、たわしなどを使用しない

変質・変色の原因になります。

## 保管のしかた

本体をポリ袋などで包み、もとの梱包ケースなどに入れて、湿気の少ないところに保管してください。

## ⚠ 注意

### お手入れしたあと、水分をよく乾燥させてから保管する

本体内部や水タンクに水分が残ったまま長期間保管すると、悪臭やカビなどが発生する原因になります。

### 電源コードを本体に巻き付けて保管しない

電源コードが傷む原因になります。

**Point** ご使用にともない水道水に含まれる「カルシウム」や「マグネシウム」などの成分が本体内部に付着していきます。ご使用のつど本体内部の水をすべて排水してください。また、1週間に1回は「お手入れ」してください。（⇒11p参照）

本体内部（水槽・加熱槽）

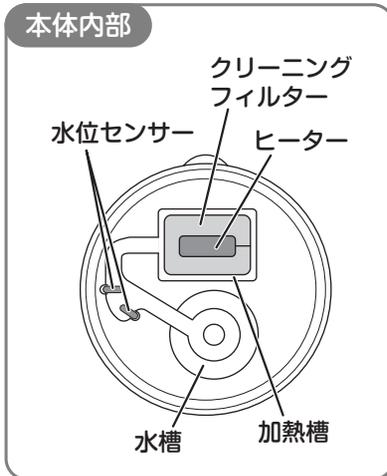
本体内部は1週間に1度以上お手入れをしてください。加熱槽に水あかが蓄積して誤作動したり故障の原因になります。十分に冷めていることを確認してから内部の水をすべて排水します。

- 水を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ります。

細部の汚れは綿棒などを利用して取り除いてください。手の届きにくいところは付属のお手入れブラシで軽くこするように汚れを取り除いてください。

- 水あかが落ちにくい場合はクエン酸で洗浄してください。

水あかが固まって、付属のお手入れブラシで落とせないときは、市販のポット洗浄用クエン酸をご使用ください。（⇒13p参照）



⚠ 注意

シンナー、アルコール、ベンジン、ミガキ粉、たわしなどを使用しない



変質・変色の原因になります。

適した場所で使いましょう！

壁や家具・パソコンや家電製品・精密機器などから離れたところで、人が容易に手を触れない水平で安定した場所

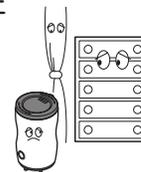
吹出口から出るスチームをさえぎるようなものがないところ



次のような場所では、使用しないでください

吹出口から出るスチームが家具や家電製品（テレビやビデオなど）・精密機器（パソコンや携帯電話など）・壁・カーテン・天井などに直接あたるところ、およびその近く、家具の上

しみがついたり、変色や変形、電気機器の故障の原因になります。



直射日光が当たる場所や暖房機の上または近く

変形・変色したり誤作動することがあります。



枕元やベッドテーブルなど就寝中に誤って触れるおそれのあるところ

誤って倒してしまうなどして熱湯がこぼれ、やけどの原因になります。



敷物やカーペット・ふとんなどの上

水がこぼれたり誤作動や故障の原因になります。



人がよく通るところ

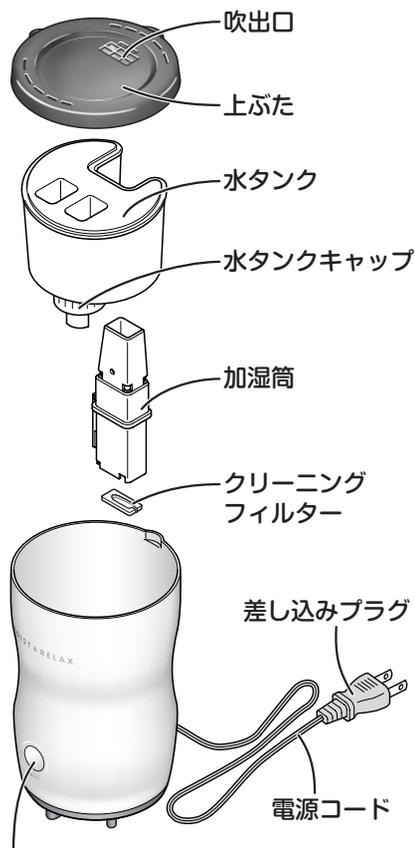
ぶつかったり、電源コードに引っかかると、本体が倒れ、お湯がこぼれて机や床をぬらしたり変色させたり、やけどや故障の原因になります。



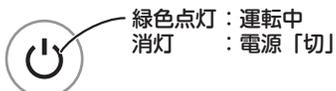
湿度の高いところ

故障の原因になります。

# 各部のなまえ

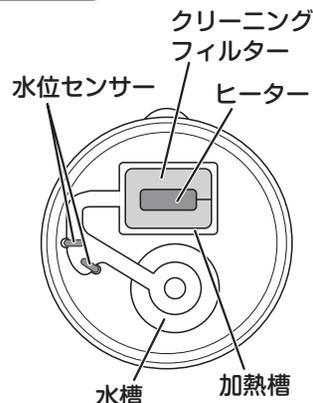


電源タッチセンサー  
運転ランプ  
触れるたびに運転が切り替わります。

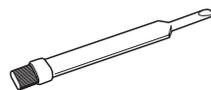


※給水が必要になると運転ランプが点滅します。

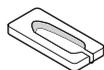
## 本体内部



## 付属品



お手入れブラシ



クリーニングフィルター

※あらかじめ本体にセットされているものと同じものです。  
(汚れて使えなくなったときの交換用としてご使用ください。)

# お手入れと保管

## 警告

お手入れの際は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜く  
感電、けがの原因になります。

## 注意

本体の丸洗いはしない

感電や故障の原因になります。

シンナー、アルコール、ベンジン、ミガキ粉、  
たわしなどを使用しない

変質・変色の原因になります。



## 本体外側

十分に冷めていることを確認してからお手入れする  
水を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ります。

## 上ぶた・加湿筒

十分に冷めていることを確認してから取りはずす  
流水で水洗いのあと、やわらかい布で拭き取ります。

## 水タンク・水タンクキャップ

十分に冷めていることを確認してから取りはずす  
・流水で水洗いのあと、やわらかい布で拭き取ります。  
・水タンクキャップを分解したり弁を変形させないように、  
ご注意ください。

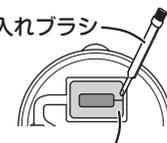


## クリーニングフィルター

十分に冷めていることを確認してから、お手入れブラシの先の部分をク  
リーニングフィルターのスリットに引っかけるようにして取りはずす

・流水でやさしくもみ洗いします。  
(洗剤は使用しないでください)  
・お手入れしてもやわらかくならない場合は、新しいものと交換してください。  
クリーニングフィルターの寿命は約3カ月です。

お手入れブラシ



クリーニングフィルター

## 排水するときは

ご使用にともない水道水に含まれる「カルシウム」や「マグネシウム」などの成分が本体内部に付着していきます。ご使用のつど本体内部の水をすべて排水してください。また、1週間に1度はお手入れしてください。(⇒11p参照)

### ⚠ 注意

使用中、使用直後は排水しない

上ぶたや加湿筒・内部部品などが非常に高温になっているため、やけどやけがの原因になります。

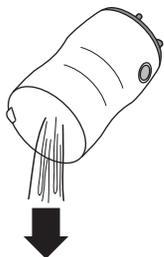
- 本体が倒れないように支えながら電源タッチセンサーに触れて、電源を「切」にし差し込みプラグをコンセントから抜いて、**本体が十分に冷めてから**排水してください。



- 上ぶたを取りはずし、水タンクと加湿筒を取りはずします。上ぶたや加湿筒に水滴が付着していることがありますので、タオルなどを敷いてテーブルや家具がぬれないように注意してください。



- 図のように排水します。



### ⚠ 注意

排水時は熱湯に注意する  
やけどの原因になります。

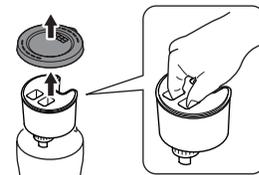
・排水時にクーリングフィルターが排水と一緒に排出される場合があります。クーリングフィルターは高温になっている場合があります。取り扱いには十分にご注意ください。

この製品は内部でお湯を沸騰させて加湿する「スチーム式加湿器」です。安全性を考慮した設計を行っておりますが、構造上、運転中および運転直後の内部は大変高温となっております。誤った取り扱いをしますと、内部のお湯がこぼれたりあふれたりして、おもわぬやけどや、周辺の家具などを破損させる原因になります。運転中はなるべく本体に触らないでください。特に小さなお子様や高齢の方のいらっしゃるご家庭では、この構造を十分にご理解いただいて、安全に正しくご使用ください。

- 輸送用の固定テープをすべてはがしてください。

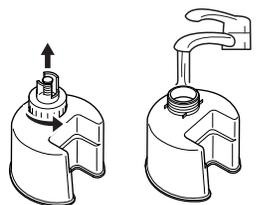
### 1 水タンクを取り出す

差し込みプラグがコンセントに差し込まれていないことを確認して、上ぶたを取りはずします。



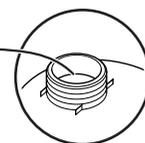
### 2 水タンクキャップを取りはずし、水道水を入れる

水タンクの口から水があふれ出ないようにご注意ください。



● アロマオイルや、芳香剤、温水(40℃以上)、洗剤、化学薬品などは絶対に入れないでください。故障の原因になります。

給水はふちより下まで



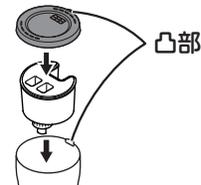
### 3 水タンクのキャップをしっかりと取り付け

水タンクを逆さまにして、キャップの根元から水漏れがないことを確認してください。



### 4 水タンクを本体に取り付け上ぶたを取り付ける

上ぶたの凸部と本体の凸部を合わせて取り付けてください。



- 5 差し込みプラグをコンセント (交流100V) に確実に差し込む



- 6 本体が倒れないように支えながら電源タッチセンサーに触れて電源を「入」にする

運転ランプが点灯します。

※スチームが出始めるまで3~10分程度かかります。



電源タッチセンサー

触れるたびに「入」「切」が切り替わります。



**注意**

吹出口周辺に触れない  
やけどの原因になります。

本体が倒れないよう十分にご注意ください。



緑色点灯：運転中  
消灯：電源「切」

水がなくなると点滅します。

電源を「切」にするときは

本体が倒れないように支えながら電源タッチセンサーに触れて、電源を「切」にします。運転ランプが消灯します。



電源タッチセンサー

触れるたびに「入」「切」が切り替わります。



**注意**

吹出口周辺に触れない  
やけどの原因になります。

本体が倒れないよう十分にご注意ください。



緑色点灯：運転中  
消灯：電源「切」

水がなくなると点滅します。

- 使用後は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



水がなくなったら

水タンクの水がなくなったら、運転ランプが点滅します。電源タッチセンサーに触れて電源を「切」にし、水タンクに給水してください。(⇒7p参照)

本体が十分に冷めてから給水してください。熱湯にご注意ください。